

3 死亡

(1) 死亡数・死亡率

平成 18 年の死亡数は、8,453 人で前年の 8,557 人より 104 人減少し、死亡率（人口千対）は 11.5 で前年の 11.6 より 0.1 下降した。

死亡率の年次推移をみると、戦後急速に低下していったが昭和 30 年代半ばから低下傾向が緩やかになり、昭和 63 年からは人口の高齢化に伴って再び上昇し始め、上昇の傾向をたどり続けた。年齢別に見ると、表 3 のとおりである。

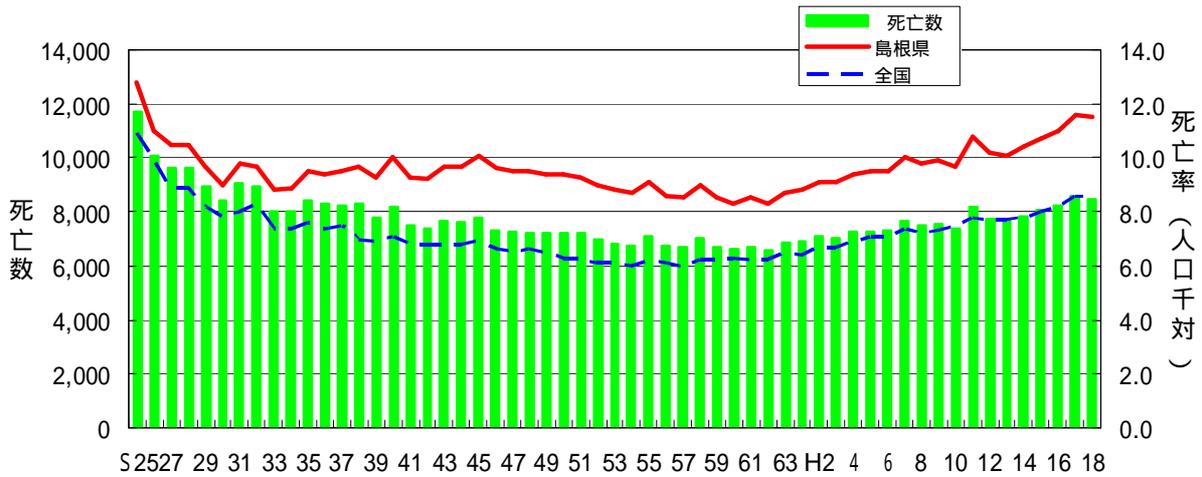
表3 年齢(5歳階級)別死亡数・死亡率(人口10万対)・死亡率性比

年齢階級	死亡数			死亡率			死亡率性比
	平成 18 年	平成 17 年	対前年増減	平成 18 年	平成 17 年	対前年増減	
総数	8,453	8,557	104	1,154.8	1,156.4	1.6	116.7
0～4	20	22	2	66.6	71.1	4.5	179.4
5～9	3	4	1	9.1	12.0	2.9	47.5
10～14	5	5	0	14.0	13.7	0.3	383.2
15～19	6	15	9	15.5	36.8	21.3	187.3
20～24	21	21	0	69.9	60.2	9.7	411.4
25～29	21	17	4	56.0	47.2	8.8	195.6
30～34	28	26	2	63.6	58.6	5.0	357.7
35～39	35	32	3	86.4	82.4	4.0	217.1
40～44	47	45	2	122.8	110.9	11.9	302.5
45～49	103	85	18	234.0	186.7	47.3	239.3
50～54	172	188	16	340.0	352.8	12.8	299.5
55～59	331	306	25	503.7	501.5	2.2	240.9
60～64	314	355	41	704.7	759.1	54.4	277.7
65～69	417	501	84	930.8	1,089.3	158.5	240.8
70～74	791	871	80	1,582.9	1,739.2	156.3	254.5
75～79	1,209	1,224	15	2,706.3	2,752.7	46.4	237.1
80～84	1,496	1,452	44	4,496.3	4,591.9	95.6	206.5
85～89	1,540	1,519	21	8,184.5	8,515.5	331.0	169.8
90歳以上	1,894	1,868	26	16,327.6	17,196.0	868.4	138.6

注(1):死亡率性比 = 男性の死亡率 / 女性の死亡率 × 100

(2)総数には年齢不詳を含む。

図4 死亡数・死亡率の年次推移



(2) 死因

死因順位

平成18年の死亡数を死因順位別に見ると、第1位は悪性新生物で2,440人（人口10万対死亡率333.3）、第2位は心疾患で1,342人（死亡率183.3）、第3位は脳血管疾患で1,019人（死亡率139.2）となっている。（表4）

主な死因の年次推移を見ると、悪性新生物は年々徐々に上昇し、昭和59年には脳血管疾患を抜いて死亡原因の第1位になり現在に至っている。脳血管疾患の死亡率は低下傾向にあり、平成12年から第3位に下がった。不慮の事故、老衰、自殺については横ばいになっている。（図5）

図5 主要死因の死亡率の年次推移

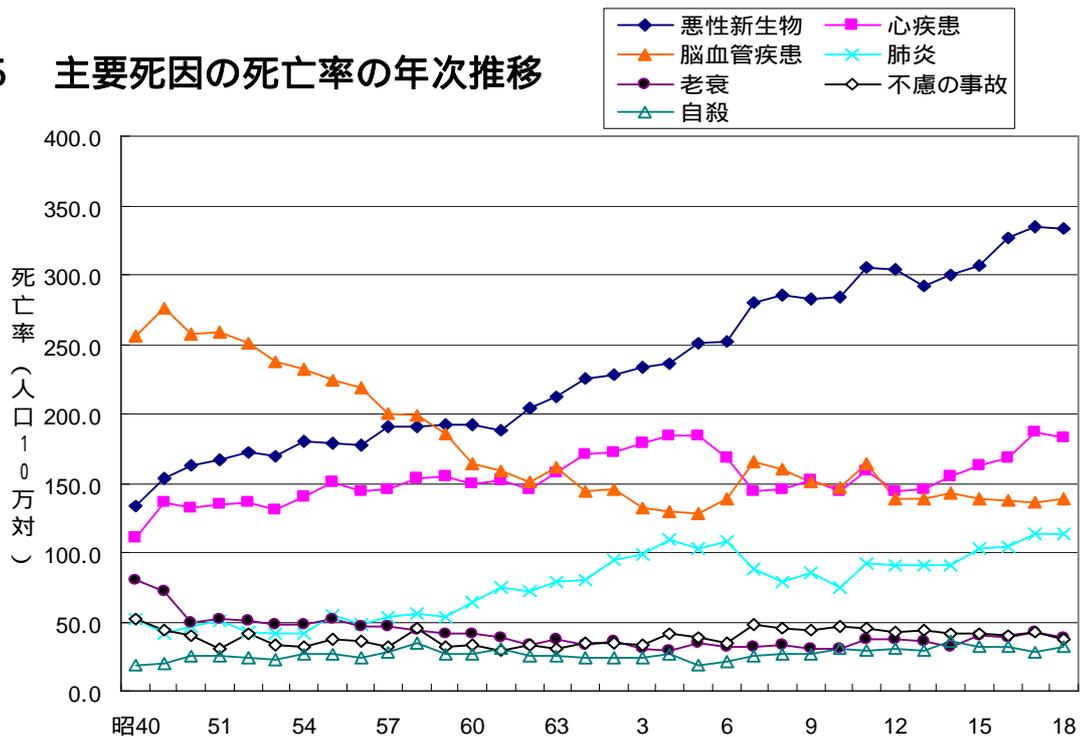


表4 死亡数・死亡率(人口10万対)・死因順位;性別

死 因	平成18年									平成17年		
	総数			男性			女性			総数		
	順位	死亡数	死亡率	順位	死亡数	死亡率	順位	死亡数	死亡率	順位	死亡数	死亡率
悪性新生物	1	2,440	333.3	1	1,438	412.0	1	1,002	261.6	1	2467	333.4
心疾患(高血圧性を除く)	2	1,342	183.3	2	592	169.6	2	750	195.8	2	1375	185.8
脳血管疾患	3	1,019	139.2	4	457	131.0	3	562	146.7	3	1007	136.1
肺炎	4	833	113.8	3	459	131.5	4	374	97.7	4	834	112.7
その他の呼吸器系の疾患	5	329	45.0	5	180	51.6	6	149	38.9	5	320	43.2
老衰	6	285	38.9	9	76	21.8	5	209	54.6	6	313	42.3
不慮の事故	7	271	37.0	7	159	45.6	7	112	29.2	7	311	42.0
自殺	8	232	31.7	6	178	51.0	10	54	14.1	8	205	27.7
腎不全	9	163	22.3	11	70	20.1	8	93	24.3	9	173	23.4
その他の消化器系の疾患	10	148	20.2	12	55	15.8	9	93	24.3	11	119	16.1

注:平成17年10位は「慢性閉塞性肺疾患」で死亡数124・死亡率16.8である。

男性の8位は「慢性閉塞性肺疾患」で死亡数101・死亡率28.6である。

男性の10位は「肝疾患」で死亡数78・死亡率22.1である。

年齢別死因

平成 18 年の死因を性・年齢（5 歳階級）別構成割合から見ると、年齢が高くなるに従って悪性新生物の占める割合が高くなっており、70 歳代頃からは、心疾患、脳血管疾患、肺炎の割合が次第に高くなっている。

図 6 - 1 性・年齢（5 歳階級）別に見た主な死因の構成割合（男性）

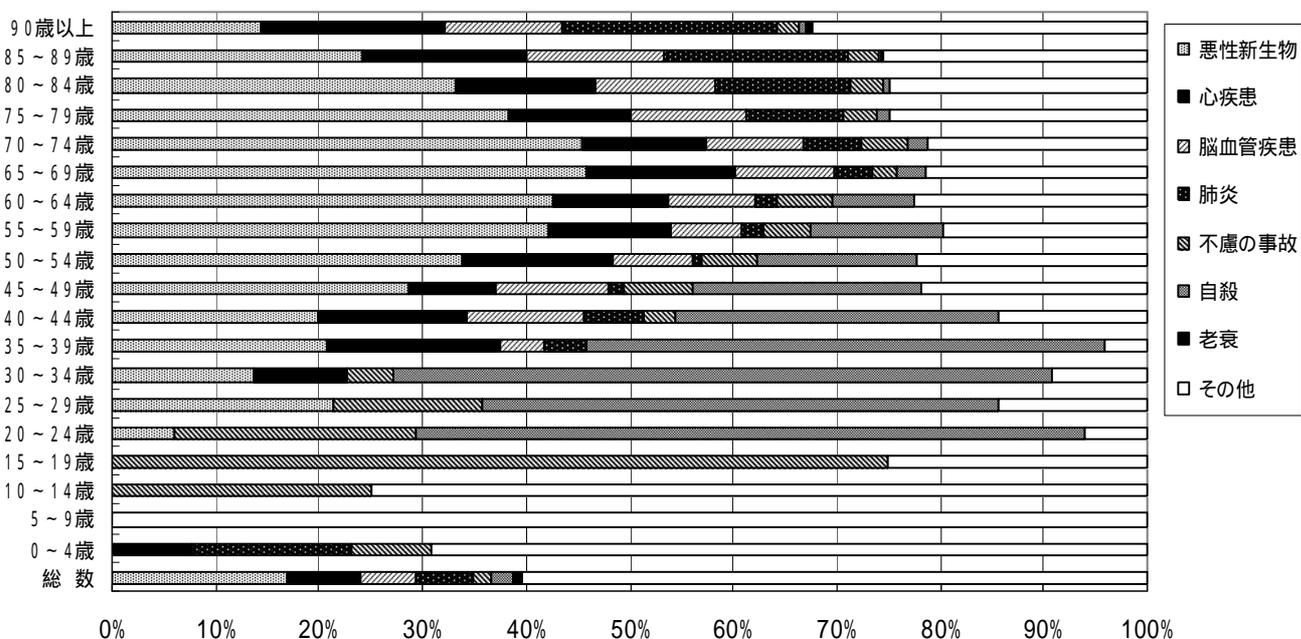
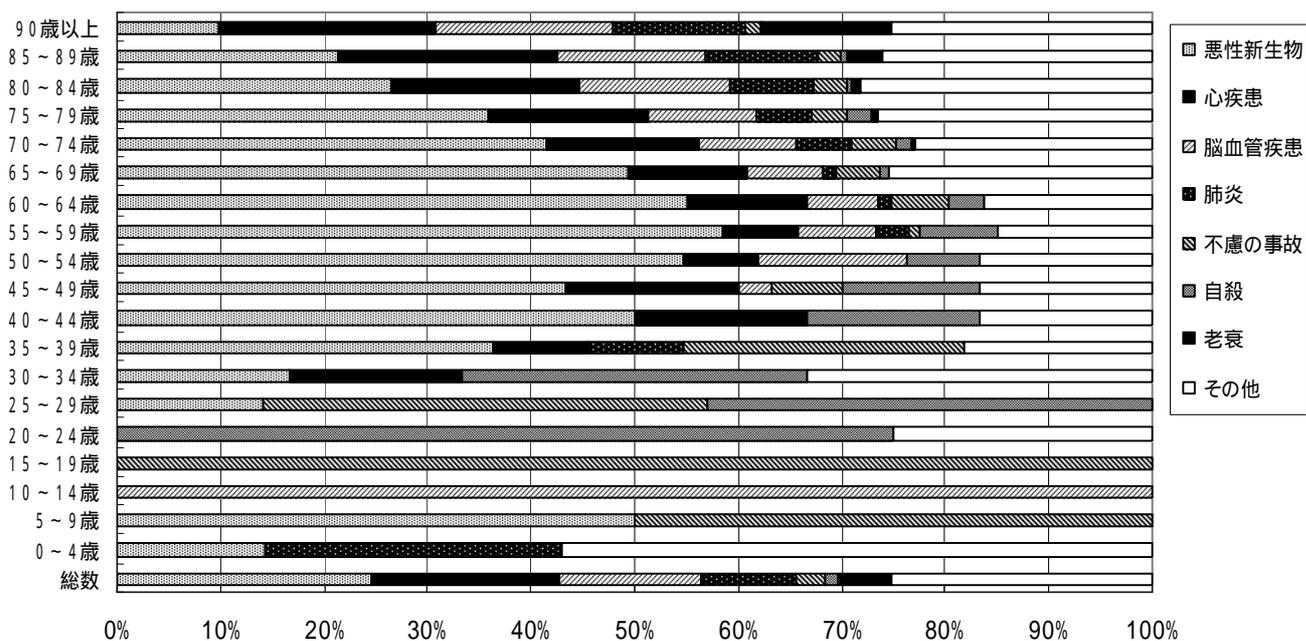


図 6 - 2 性・年齢（5 歳階級）別に見た主な死因の構成割合（女性）



部位別に見た悪性新生物

悪性新生物について死亡数、死亡率を主な部位別に見ると、男性については主な部位すべてが下降している。女性については、肺、乳房、子宮及び大腸が上昇し、胃及び肝が下降した。

表5 悪性新生物の主な部位別死亡数・死亡率(人口 10 万対)の年次推移

部位	S30	40	50	60	H8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
死亡数															
【男性】															
胃	250	314	293	273	263	251	255	252	267	216	243	230	233	230	206
肺	19	61	82	169	250	281	273	292	299	272	288	282	341	363	316
肝	54	55	65	121	206	179	194	182	208	182	164	181	179	191	173
大腸*	23	42	48	79	151	128	155	175	163	138	142	155	139	164	160
【女性】															
胃	165	179	202	149	159	151	134	138	137	145	153	153	150	152	125
肺	8	18	32	52	109	94	90	93	98	110	112	91	91	107	124
肝	37	33	35	55	89	94	80	93	99	85	100	76	96	90	80
乳房	18	16	25	28	38	48	38	54	43	55	53	56	74	54	71
子宮	93	71	57	40	38	35	27	34	25	24	31	31	26	21	31
大腸*	30	44	48	85	123	114	124	133	125	129	125	150	139	150	165
死亡率															
【男性】															
胃	54.7	79.8	80.0	71.7	71.7	68.6	70.1	69.4	73.7	59.7	67.5	64.2	65.4	65.2	59.0
肺	4.2	15.5	22.4	44.4	68.1	76.8	75.0	80.4	82.6	75.1	80.0	78.8	95.8	102.8	90.5
肝	11.8	14.0	17.7	31.8	56.1	48.9	53.3	50.1	57.4	50.3	45.6	50.6	50.3	54.1	49.6
大腸*	5.0	10.7	13.1	20.7	41.1	35.0	42.6	48.2	45.0	38.1	39.4	43.3	39.0	46.5	45.8
【女性】															
胃	34.9	41.8	50.4	35.8	39.8	37.8	33.7	34.8	34.7	36.8	38.9	39.1	38.6	39.3	32.6
肺	1.7	4.2	8.0	12.5	27.3	23.6	22.6	23.4	24.8	27.9	28.5	23.3	23.4	27.6	32.4
肝	7.8	7.7	8.7	13.2	22.3	23.6	22.6	23.4	25.1	21.6	25.4	19.4	24.7	23.3	20.9
乳房	3.8	3.7	6.2	6.7	9.5	12.0	9.5	13.6	10.9	14.0	13.5	14.3	19.0	14.0	18.5
子宮	19.7	16.6	14.2	9.6	9.5	8.8	6.8	8.6	6.3	6.1	7.9	7.9	6.7	5.4	8.1
大腸*	6.4	10.3	12.0	20.4	30.8	28.6	31.2	33.5	31.7	32.7	31.8	38.4	35.7	38.8	43.1

注:大腸の悪性新生物は、結腸と直腸 S 状結腸移行部及び直腸を示す。

ただし、昭和 40 年は十二指腸と小腸を含み、昭和 50 年は肛門を含む。

図 7 - 1 悪性新生物の主な部位別死亡率(人口 10 万対)の年次推移(男性)

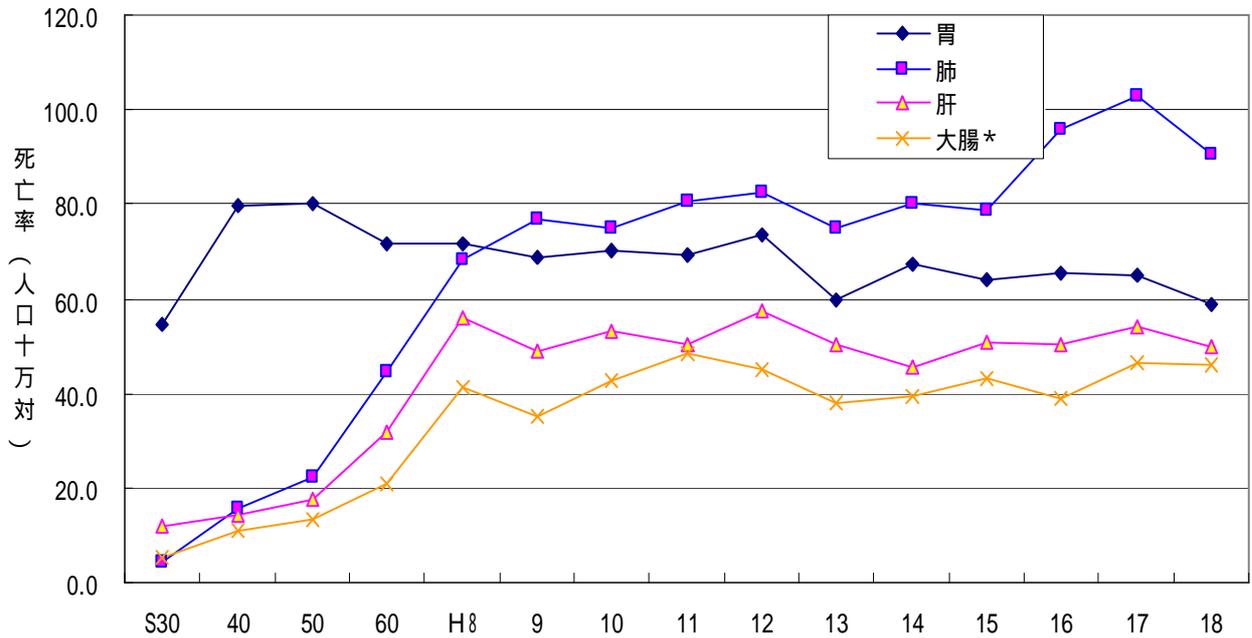


図 7 - 2 悪性新生物の主な部位別死亡率(人口 10 万対)の年次推移(女性)

